AKAI professional

EWI4000s

ELECTRIC WIND INSTRUMENT

オペレーティングシステム・バージョン2.0

日　本　語　版

追補マニュアル

- 目次 -

この追補版について 1

新しいグローバルコマンド 1

All Note Off 1

MIDI Panic 1

メニューの構造について 2

オクターブ機能(OCTボタン) 4

オクターブ機能を設定する 4

オクターブ機能のサブメニュー 4

OF (off) オフ.....4

oc (octave) オクターブ.....4

In (Interval) インターバル･モード.....5

インターバル･モードを使う.....5

dn (preset down) プリセット･ダウン.....5

CC (Continuoous Controller) コンティニュアス･コントローラー.....5

コンティニュアスコントローラーを設定する.....5

コンティニュアスコントローラーのオプション.....6

ホールド機能(HOLDボタン) 7

ホールド機能を設定する 7

オクターブ機能のサブメニュー 7

OF (off) オフ.....7

LE (Legato Hold) レガート･ホールドモード.....7

レガート･ホールドモードを使う.....7

nL (Non Legato Hold) ノンレガートホールドモード.....8

ノンレガート･ホールドモードを使う.....8

Su (Sustain Hold) サスティン･ホールドモード.....8

サスティンホールド･モードを使う.....8

UP (preset up) プリセット･アップ.....8

CC (Continuoous Controller) コンティニュアス･コントローラー.....9

コンティニュアスコントローラーを設定する.....9

コンティニュアスコントローラーのオプション.....9

ベンド・コントロール (ベンドセンサー)　11

ピッチベンド・アップの設定する 11

ピッチベンド・アップのサブメニュー 11

Pb (Pitch Bend) ピッチベンド・イネーブル.....11

ピッチベンドアップ機能のオン／オフ.....11

CC (Continuoous Controller) コンティニュアス・コントローラー.....12

コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ.....12

コンティニュアス・コントロールナンバーの変更.....12

ピッチベンド・ダウンの設定する 13

ピッチベンド・ダウンのサブメニュー 13

Pb (Pitch Bend) ピッチベンド・イネーブル.....13

ピッチベンドダウン機能のオン／オフ.....13

CC (Continuoous Controller) コンティニュアス・コントローラー.....13

コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ.....13

コンティニュアス・コントロールナンバーの変更.....14

ポルタメント機能 (グライド・プレート)　15

ポルタメント・モードに入る 15

ポルタメント・モードのオプション 15

PS (Pedal Switch) ペダルスイッチ.....15

ペダルスイッチ機能のオン／オフ.....15

ペダルスイッチのコントロールの設定.....16

CC (Continuoous Controller) コンティニュアス・コントローラー.....16

コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ.....16

コンティニュアス・コントロールナンバーの変更.....17

キー・プログラムチェンジ 18

キー・プログラムチェンジ・モードに入る 18

キー・プログラムチェンジのオプション 18

OF (off) オフ 18

OC (Octave) 1オクターブ内12音色 18

AL (All) 全てのキー96音色 18

フィンガリングモード 19

フィンガリング・モードの設定 19

フィンガリング・モードのオプション 19

EI (EWIスタンダード) 19

Ev (EVIフィンガリング) 19

Er (EVIフィンガリング+反転オクターブローラー) 19

EWI4000s EVI フィンガリングモード運指表 20

ノートキー 20

オクターブシフトローラー 20

ペダルスイッチ機能のオン／オフ 15

ペダルスイッチのコントロールの設定 16

EWI4000s EVI フィンガリングモード運指表 20

EVIフィンガリングモード詳細 21

右手 21

左手 21

EVI の基本的な運指 22

トリル・キーとは？ 23

EWI4000s OSアップデートの方法　24

OSのバージョンアップに必要な物 24
接続のしかた 25
MIDIインターフェース側の準備 25
EWI4000s側の準備 25
EWI4000sへOSファイルを送信する 26

この追補版について

AKAI professional EWI4000sを日頃からご愛好いただき、誠にありがとうございます。

この度、エレクトリック・ウィンド・インストゥルメント「EWI4000s」は、より完成された楽器としての表現力と使いやすさを求めて、オペレーティング・システム(OS)をバージョン2にアップデートする運びとなりました。変更されたユーザインターフェースに関する点などは、この追補マニュアルに全て記載されております。

※ お使いのEWI4000sのOSがバージョン1の場合、EWI4000s本体をアップデートする必要があります。アップデート方法は本マニュアルのP.24「EWI4000s OS アップデートの方法」をご覧下さい。

オペレーティング・システム・バージョン2.0はEWI4000sに多くの機能を追加します。これらの新機能はEWI自体のパフォーマンスと、MIDIによるコントロール性能を大幅に拡張するものです。そのためエディットメニューの構成を若干変更し、新たな項目を設けた上で、その箇所において新機能の設定をしたり、ある特定スイッチやキーに対しての機能変更が出来るもの等がありますので、是非この追補マニュアルの内容を注意深く読んでいただければと思います。

この度のEWI4000sバージョン2.0ソフトウェアによってもたらされた多くの新機能はEWIのエディットメニューを拡張することで実現されています。新たなエディット・メニュー項目の全ては[SETUP]ボタンを押して簡単にアクセスできるよう、メニュー構成を変更いたしました。(エディットメニューの階層は次のページ「メニューの構造について」をご参照下さい。)

ただ、以前のバージョンでは、[SETUP]を押すと、常に「Ad」メニュー(アジャスト)から開始されておりましたが、この度のバージョン2.0ソフトウェアは、前回操作時のエディット・メニュー(最後にエディットしたメニュー)を本体内に記憶するように出来ており、[SETUP]ボタンを押した時には、もう一度そのメニューから編集を開始し、素早くパラメータを変更できるようになりました。

新しいグローバルコマンド

・ALL Notes Off

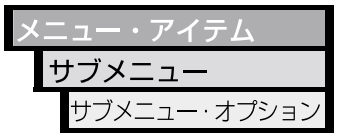
どの状態の時でも[SETUP]ボタンを押すことにより「All Notes Off (オール・ノートオフ・メッセージ)」を送信することが出来ます。

・MIDI Panic

[FX]ボタンと[LEVEL]ボタンの同時押しで、現在選択しているMIDIチャンネルの各MIDIノート(0-127)に対してMIDI Panic(リセット・オール・コントローラーとオール・ノートオフ・メッセージ)を送信します。

メニューの構造について

EWI4000s OS バージョン2.0では新たな機能の追加により、メニューの階層が一部変更されました。以下の表はバージョン2.0において変更された階層、及び追加された部分やパラメータの設定範囲、デフォルト値について表記してあります。EWI4000sをエディットする際には、このリストを参考にしながら新しい階層形式に慣れてください。



パラメータ	設定範囲	標準設定値(デフォルト)
Ad アジャスト		
dL キー・ディレイ	0～15	7
CH MIDIチャンネル	1～16	1
to チューニング	16～65	40
bS ブレス・センサー（ブレス・センド）		
uo ボリューム		
AF アフター・タッチ		ON(ENABLED)
br ブレス		ON(ENABLED)
EP エクスプレッション		
uE ベロシティ		ON(ENABLED)
uS ビブラート・センサー		
bo ブレス		ON(ENABLED)
Pb ピッチ・ベンド		
uE ベロシティ・スタティック	1～127	120
Po ポルタメント		
PS ペダル・スイッチ	0～99	OFF, CC#65
CC コンティニュアス・コントローラー	0～99	CC#05
Oc オクターブ		
OF オフ		
oc オクターブ		デフォルト設定
In インターバル・モード		
dn プリセット・ダウン／デクリメント		
CC コンティニュアス・コントローラー		CC#69
Cn コントローラー・ナンバー	0～99	
dA MIDIデータバリュー	0～127	
LA ラッチング	ON/OFF	ON（ラッチタイプ）

パラメータ		設定範囲	標準設定値(デフォルト)
Ho	ホールド		
OF	オフ		
LE	レガート		デフォルト設定
nL	ノン・レガート		
Su	サステイン		
UP	プリセット・アップ／インクリメント		
CC	コンティニュアス・コントローラー		CC#64
Cn	コントローラー・ナンバー	0 ～ 99	
dA	MIDIデータバリュー	0 ～127	
LA	ラッチング	ON/OFF	ON（ラッチタイプ）
GL	グライド		
rA	レイト		デフォルト設定
tA	タイム		
Pu	ピッチベンド・アップ		
Pb	ピッチベンド・イネーブル	ON/OFF	ON
CC	コンティニュアス・コントローラー	0 ～ 99	CC#48, OFF(DISABLE)
Pd	ピッチベンド・ダウン		
Pb	ピッチベンド・イネーブル	ON/OFF	オン
CC	コンティニュアス・コントローラー	0 ～ 99	CC#49, OFF(DISABLE)
dP	キー・プログラム		
OF	オフ		
OC	オクターブ		デフォルト設定
AL	オール		
Fn	フィンガリング		
EI	EWI		デフォルト設定
Eu	EVI		
Er	EVI リバース		
UP	アップデート		

オクターブ機能(OCTボタン)

オクターブ機能では、[OCT]ボタンを使って、演奏している音に対して1オクターブ下の音を追加することが出来ましたが、バージョン2ではこの追加する音に任意の音程を指定する事が可能になりました。また、[OCT]ボタンにMIDIコントロールチェンジを割り当て、送信する事も可能です。

オクターブ機能を設定する

❶

1）[SETUP]ボタンを押したままにしてください。

[SETUP]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン／[OCT]ボタンを使って、プログラム･データ表示部に「Oc」と表示されるまで操作します。

❷

2）「Oc」と表示されたら[SETUP]ボタンを離します。

[SETUP]ボタンを離すと、オクターブ機能に関するサブメニューの階層に移動します。

オクターブ機能のサブメニュー

オクターブ機能のサブメニューには、設定に必要な5項目のサブメニューがあります。サブメニューの階層内で、[HOLD]ボタン／[OCT]ボタンを使って、サブメニューを切り替える事が出来ます。サブメニューから通常の演奏モードに移動するときはもう一度[SETUP]ボタンを押して下さい。

Oc	オクターブ		
OF	オフ		
oc	オクターブ		デフォルト設定
In	インターバル		
dn	プリセット・ダウン／デクリメント		
CC	コンティニュアス・コントローラー		CC#69
Cn	コントローラー・ナンバー	0～99	
dA	MIDI・バリュー	0～127	
LA	ラッチング	ON/OFF	ON

OF - (Off) オフ

「OF」を選択すると[OCT]ボタンの機能は無効になります。

oc - (Octave) オクターブ　デフォルト設定

「oc」は通常のオクターブ･モードで、このモードがデフォルトの設定となっています。演奏中に[OCT]ボタンを押す事でEWI4000sは演奏中のボイスに対して1オクターブ下の2ボイス目を足して発音します。

In - (Interval)　インターバル・モード

「In」は「インターバル・モード」です。「In」を選択した場合は、[OCT]ボタンを押した時に、演奏中の音に対して設定した度数（音程の間隔）を保持したまま 2 番目のボイスを足して発音します。

■インターバル・モードを使う

1. まず最初に基本に鳴る音を吹きつづけます。
2. 発音した状態をキープしたまま[OCT]ボタンを押します。
3. 次に重ねたい 2 ボイス目の音を吹きます。

   最初の音と 2 番目に重ねた音程の間隔が維持され、常に演奏した音程に対して、この間隔が維持されたまま 2 番目の音として重ねて発音され続けます。

dn - (preset down) プリセット・ダウン

「dn」を選択した場合はプリセットナンバーを 1 つ下げるボタンとしてのみ機能します。

CC - (Continuous Controller) コンティニュアス・コントローラー

「CC」を選択した場合は、[OCT]ボタンを使ってMIDIコントロール・チェンジの情報を送信させることが出来ます。[OCT]ボタンによるMIDIスイッチとしての振るまいとして「ラッチ／アンラッチ」としての動作を設定する事も可能です。

■コンティニュアス・コントローラーを設定する

1. サブメニューで「CC」を選択してください。

   [SETUP]ボタンと[TRANS]ボタンの下のLEDが点滅を開始します。

2. [TRANS]ボタンを押します。

   これでコンティニュアス・コントローラーの設定に関するオプションの階層に移動します。

3. [TRANS]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン、[OCT]ボタンを使って設定に必要なオプションを選択します。

→ 次のページへ

- コンティニュス・コントローラーのオプション -

CONTROLLER NUMBER(コントローラー・ナンバー):

デフォルト設定 = MIDI CC#64

[OCT]ボタンを押した時に送信するMIDIコントロールナンバーを表示します。

MIDI DATA VALUE(MIDIデータバリュー):

[OCT]ボタンを押してる時に送信されるコントロールナンバーの「値」を設定します。EWI4000sは通常のMIDIの値である「0～127」を送信できます。

*※ プログラム・データ表示部が**100を超える値**を表示する場合は表示部の**上部中央の「点」が点灯**します。*

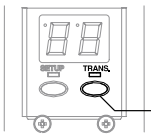
LATCHING (ラッチング): デフォルト設定=オン

[OCT]ボタンをMIDIコントロールチェンジのスイッチとして使用する際、その動作の仕方として、一般的なフットスイッチなどにみられる「ラッチ・タイプ」もしくは「アンラッチ・タイプ」としての動作を設定できます。

ON（ラッチ） [OCT]ボタンを押している間はON。離すとOFF。

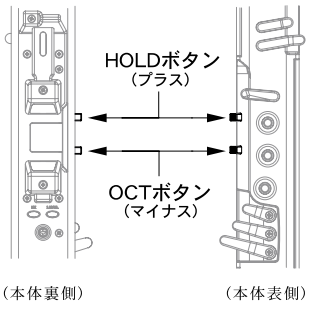
OFF（アンラッチ） [OCT]ボタンを一度押すとONの状態を維持。もう一度押す事でOFF。

3. エディットしたいオプションの画面で[TRANS]ボタンを離すと決定です。



4. プログラム・データ表示部に選択したオプションのパラメータが表示されます。

   [HOLD]/[OCT]ボタンを使ってパラメーターをセットしてください。



5. エディットを終了したいときは[SETUP]ボタンを押します。

   サブメニューの階層に戻ります。

ホールド機能(HOLDボタン)

ホールド機能にもいくつかの新たな機能が追加されました。

ホールド機能を設定する

❶

1) [SETUP]ボタンを押したままにしてください。

[SETUP]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタンと[OCT]ボタンを使ってプログラム･データ表示部に「Ho」と表示されるまで操作します。

❷

2) 「Ho」と表示されたら[SETUP]ボタンを離します。

[SETUP]ボタンを離すと、ホールド機能に関するサブメニューの階層に移動します。

ホールド機能のサブメニュー

ホールド機能のサブメニューには、設定に必要な6項目のサブメニューがあります。サブメニューの階層内で、[HOLD]ボタン／[OCT]ボタンを使って、サブメニューを切り替える事が出来ます。 サブメニューから通常の演奏モードに移動するときはもう一度[SETUP]ボタンを押して下さい。

Ho ホールド		
OF オフ		
LE レガート		デフォルト設定
nL ノン・レガート		
Su サステイン		
UP プリセット・アップ／インクリメント		
CC コンティニュアス・コントローラー		CC#64
Cn コントローラー・ナンバー	0～99	
dA MIDIパラメータバリュー（設定値）	0～127	
LA ラッチング	ON/OFF	オン

OF - (OFF)　オフ

「OF」を選択すると[HOLD]ボタンの機能は無効になり、押しても何も効果がありません。

LE - (Hold Mode, legato)レガート･ホールドモード　デフォルト設定

「LE」は通常のホールド･モード(レガート)になります。[HOLD]ボタンを押す事で、このモードが有効になり、もう一度押すとモード解除です。

■レガート･ホールドモードを使う

1. [HOLD]ボタンを押して、演奏を始めて下さい。

演奏した時の第1音目のみを保ったまま(ホールドしたまま)、第2音目以降の音が(単音で)重なり続けます。第2音目以降の音は、通常演奏時と同じ発音状態となり、通常通りの感覚で演奏ができます。(その際、各ノートの最後にはMIDIノート･オフ･メッセージを出力)。

→ 次のページへ

2. 息を吹き込むのをやめると、ホールドして発音し続けていた第一音目の発音が停止します。

また新しいフレーズを吹き始めると、そのフレーズの最初の音がホールドされたまま、第2音目以降が重なって演奏されます。

nL - (Hold Mode, non-legato)ノンレガート・ホールドモード

「nL」を選択する事で「ノンレガート・ホールドモード」になります。ホールドし続ける**第一音目の発音停止は、息の吹き込みに関係なく、[HOLD]ボタンをもう一度押す事**で行うという点が前述のレガート・ホールドと違う点です。

■ノンレガート・ホールドモードを使う

1. [HOLD]ボタンを押し、演奏を初めて下さい。

演奏した時の第1音目のみがホールドされたまま、第2音目以降の音が(単音で)重なり続けます。第2音目以降の音は、通常演奏時と同じ発音状態となり、通常通りの感覚で演奏ができます(その際、各ノートの最後にはノート・オフ・メッセージを出力)。

2. [HOLD]ボタンをもう一度押すと、ホールドし続けていた第一音目の発音が停止します。

再び「ノンレガート・ホールドモード」で新しいフレーズを吹き始めたい場合は、もう一度[HOLD]ボタンを押し演奏を開始して下さい。

Su - (Sustain) サスティン・ホールドモード

「Su」を選択する事で「サスティン・ホールドモード」になります。

このモードは前述のレガート・ホールドモードに似ていますが、このサスティン・ホールドモードを選択した場合、EWI4000sのMIDI OUT端子に接続された外部音源モジュールなどに対して「MIDIサスティン情報」を送信します。フレーズの吹き始め(息を吹き込んだ時)に「MIDIサスティンON」を、フレーズの吹き終わり(息を吹き込むのを止めた時)に「MIDIサスティンOFF」を送信します。

■サスティン・ホールドモードを使う

使い方は「レガートホールド・モード」を参考にして下さい。

UP - (Preset Up/Increment) プリセットUP

「UP」を選択する事で「サスティン」「ソステヌート」の機能はオフになり[HOLD]ボタンはプログラムアップボタンとして機能するようになります。

CC - (Continuous Controller) コンティニュアス・コントローラー

「CC」を選択した場合は、[HOLD]ボタンを使ってMIDIコントロール・チェンジの情報を送信させることが出来ます。[HOLD]ボタンによるMIDIスイッチとしての振るまいとして「ラッチ／アンラッチ」としての動作を設定する事も可能です。

■コンティニュアス・コントローラーを設定する

1. サブメニューで「CC」を選択してください。

[SETUP]ボタンと[TRANS]ボタンの下のLEDが点滅を開始します。

2. [TRANS]ボタンを押します。

これでコンティニュアス・コントローラーに関するオプションの階層に移動します。

3. [TRANS]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン、[OCT]ボタンを使って設定に必要なオプションを選択します。

- コンティニュス・コントローラーのオプション -

CONTROLLER NUMBER(コントローラー・ナンバー): デフォルト設定 = MIDI CC#64

[HOLD]ボタンを押した時に送信するMIDIコントロールナンバーを設定します。

MIDI DATA VALUE(MIDIデータバリュー):

[HOLD]ボタンを押してる時に送信されるコントロールナンバーの「値」を設定します。EWI4000sは通常のMIDIの値である「0～127」を送信できます。

> *※ 100を超える値をプログラム・データ表示部が表示している場合は上部中央の「点」が点灯します。*

LATCHING (ラッチング): デフォルト設定=オン

[HOLD]ボタンをMIDIコントロールチェンジのスイッチとして使用する際、その動作の仕方として、一般的なフットスイッチなどにみられる「ラッチ・タイプ」もしくは「アンラッチ・タイプ」としての動作を設定できます。

ON（ラッチ）　[HOLD]ボタンを押している間はON。離すとOFF。

OFF（アンラッチ）　[HOLD]ボタンを一度押すとONの状態を維持。もう一度押す事でOFF。

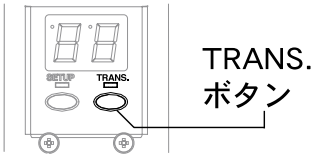
→ 次のページへ

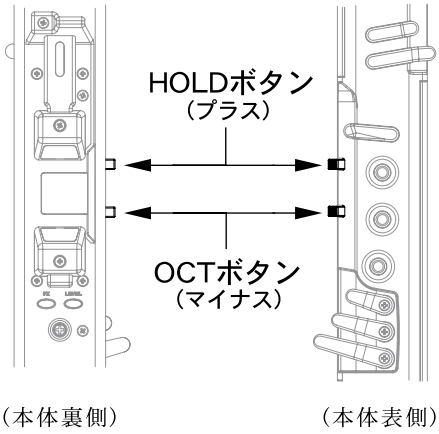
4. エディットしたいオプションの画面で[TRANS]ボタンを離すと決定です。

5. プログラム･データ表示部に選択したオプションのパラメータが表示されます。

   [HOLD]/[OCT]ボタンを使ってパラメータをセットしてください。

6. エディットを終了したいときは[SETUP]ボタンを押します。





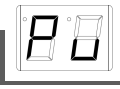
ベンド・コントロール

ベンドのアップ／ダウン・コントローラーに、ピッチベンドデータ（と、もしくは）MIDIコンティニュアス・コントロールメッセージをアサインし、送信することが出来ます。アップ＆ダウンそれぞれに対して個別に独立した設定が可能です。

これにより外部MIDI音源モジュールやソフトシンセなどをEWI4000sでコントロールする際、より表現力豊かな演奏が可能になるでしょう。

ベンドセンサーの設定は「アップ」と「ダウン」別々のメニューとして用意してあります。

ピッチベンド・アップの設定をする



❶

1) [SETUP]ボタンを押したままにしてください。

[HOLD]ボタン／[OCT]ボタンを使って、プログラム・データ表示部に「PU」（Pitch Bend UP の意味）と表示れるまで操作します。

2) 「PU」と表示させたら[SETUP]ボタンを離します。

❷

[SETUP]ボタンを離すと、ピッチベンド・アップ機能に関するサブメニューの階層に移動します。

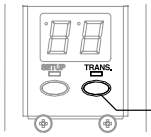
ピッチベンド・アップのサブメニュー

Pb - (Pitch Bend)　ピッチベンド・イネーブル

MIDIピッチベンド・メッセージ送信の有効無効を設定できます。もしこれを無効にした場合、演奏中にピッチベンド・アップセンサーに触れてもMIDIピッチベンドメッセージを送信しません。

■ピッチベンド・アップ機能のオン／オフ　(デフォルト設定=オン)

1) 「Pb」表示中のとき、[TRANS]ボタンを押すことでMIDIピッチベンド・メッセージ送信の有効無効を選択できます。



プログラム／データ表示部の「P」と「b」の間の小さな点が点灯します。この点が点灯していると、コントロールは有効となっています。

2) 解除するには、もう一度[TRANS]ボタンを押してください。

「P」と「b」の間の小さな点が消え、ピッチベンド・アップ機能が無効となります。

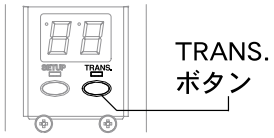
→ 次のページへ

CC - (continuous controller)

ピッチベンドアップセンサーでMIDIコンティニュアス・コントローラー情報を出力するときは、このオプションで設定します。

■コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ (デフォルト設定=オフ)

1) サブメニューが「ＣＣ」表示中のとき、[TRANS]ボタンを押すことでMIDIコンティニュアス・コントローラー・メッセージ送信の有効無効を選択できます。



プログラム／データ表示部の「C」と「C」の間の小さな点が点灯します。この点が点灯していると、コントロールは有効となっています。

2) 解除するには、もう一度[TRANS]ボタンを押してください。

「C」と「C」の間の小さな点が消え、コントローラー機能が無効となります。

■コンティニュアス・コントロールナンバーの変更 (デフォルト=48)

1) コンティニュアス・コントローラー機能を有効な状態にします。

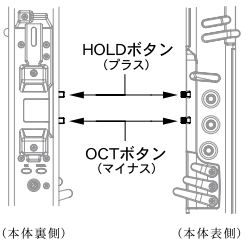
前述の「コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ」を参考にし、この機能を有効にしておいて下さい。

2) プログラム／データ表示部の「C」と「C」の間の点が点灯している事を確認下さい。

点灯していると送信可能の状態です。[TRANS]ボタンを再び押すことで「無効」になります。

※ [TRANS]ボタンを押したままにするとグライド・プレートから送信される「MIDI CCナンバー」が表示されます。

3) [TRANS]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン、[OCT]ボタンを使ってCCナンバーの数値を増減できます。



数値を決定する場合は目的の数値を表示されている時に[TRANS]ボタンを離して下さい。

注意: コントロールナンバーのセットをする際に、コンティニュアス・コントローラー機能を「オフ」にしてしまいがちです。コントロールナンバーをセットした後はプログラム・データ表示部の「C」と「C」の間の点が点灯していることをご確認下さい。

ピッチベンド･ダウンの設定をする

❶

1） [SETUP]ボタンを押したままにしてください。

[HOLD]ボタン／[OCT]ボタンを使って、プログラム･データ表示部に「Pd」(Pitch Bend Down の意味)と表示れるまで操作します。

❷

2） 「Pd」と表示させたら[SETUP]ボタンを離します。

[SETUP]ボタンを離すと、ピッチベンド･ダウン機能に関するサブメニューの階層に移動します。

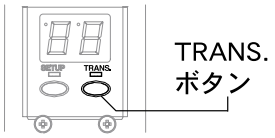
ピッチベンドダウンのサブメニュー

Pb - (Pitch Bend)　ピッチベンド･イネーブル

MIDIピッチベンド･メッセージ送信の有効無効を設定できます。もしこれを無効にした場合、演奏中にピッチベンドダウンセンサーはMIDIピッチベンドメッセージを送信しないでしょう。

■ピッチベンド･ダウン機能のオン／オフ　(デフォルト設定=オン)

1）「Pb」表示中のとき、[TRANS]ボタンを押すことでMIDIピッチベンド･メッセージ送信の有効無効を選択できます。



プログラム／データ表示部の「P」と「b」の間の小さな点が点灯します。この点が点灯していると、コントロールは有効となっています。

2）解除するには、もう一度[TRANS]ボタンを押してください。

「P」と「b」の間の小さな点が消え、ピッチベンド･ダウン機能が無効となります。

CC - (Continuous Controller) コンティニュアス･コントローラー

ピッチベンドダウンセンサーでMIDIコンティニュアス･コントローラー情報を出力するには、このオプションで設定します。

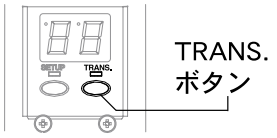
■コンティニュアス･コントローラー機能のオン／オフ (デフォルト設定=オフ)

1）「CC」表示中のとき、[TRANS]ボタンを押すことでMIDIコンティニュアス･コントローラー･メッセージ送信の有効無効を選択できます。

プログラム／データ表示部の「C」と「C」の間の小さな点が点灯します。この点が点灯していると、コントロールは有効となっています。

➔ 次のページへ

2) 解除するには、もう一度[TRANS]ボタンを押してください。



「C」と「C」の間の小さな点が消え、コントローラー機能が無効となります。

■コンティニュアス・コントロールナンバーの変更 (デフォルト=49)

1) コンティニュアス・コントローラー機能を有効な状態にします。

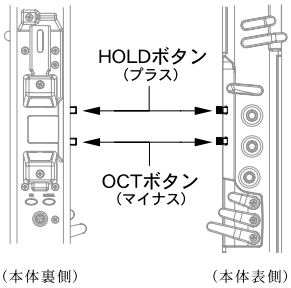
前述の「コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ」を参考にし、この機能を有効にしておいて下さい。

2) プログラム／データ表示部の「C」と「C」の間の点が点灯している事を確認下さい。

点灯していると送信可能の状態です。[TRANS]ボタンを再び押すことで「無効」になります。

※[TRANS]ボタンを押したままにするとグライド・プレートから送信される「MIDI CCナンバー」が表示されます。

3) [TRANS]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン、[OCT]ボタンを使ってCCナンバーの数値を増減できます。



数値を決定する場合は目的の数値を表示されている時に[TRANS]ボタンを離して下さい。

注意: コントロールナンバーのセットをする際に、コンティニュアス・コントローラー機能を「オフ」にしてしまいがちです。コントロールナンバーをセットした後はプログラム・データ表示部の「C」と「C」の間の点が点灯していることを

ポルタメント機能(グライド・プレート)

通常、グライド･プレートセンサーに触れる事でポルタメント･オン･メッセージ(MIDI CC#65)が出力され、センサーに触れている量に応じてポルタメント･タイム情報(MIDI CC#05)も出力されます。OSバージョン2では、このグライド･プレート･センサーに対して、上記のポルタメント情報以外に、MIDIコンティニュアス･コントローラーやMIDIオン／オフ･スイッチを自由に(独立して)割り当てる事ができます。

※ MIDIコンティニュアス･コントローラーのデフォルトはCC#05。MIDIスイッチパラメータでのデフォルトはCC#65 = (ポルタメント･オン／オフ)です。

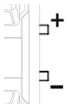
***注意：** MIDIコンティニュアス･コントローラーの値を「05」以外の値に変更した場合、本体内蔵音源に対するグライド･エフェクトの効果は無効となります。*

ポルタメント･モードに入る

❶

1) [SETUP]ボタンを押したままにしてください。

[SETUP]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン／[OCT]ボタンを使って、プログラム･データ表示部に「Po」と表示されるまで操作します。

❷ 

2) 「Po」と表示されたら[SETUP]ボタンを離します。

[SETUP]ボタンを離すとポルタメント機能に関するサブメニューの階層に移動します。

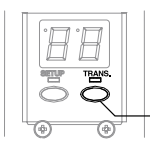
ポルタメント･モードのオプション

PS (pedal switch)　ペダルスイッチ

このサブメニューはグライド･プレートセンサーにMIDIオン／オフスイッチ情報をアサインさせる為のものです(デフォルトは「CC#65(ポルタメントON/OFF)」)。また、MIDIオン／オフスイッチコントローラーとしての有効／無効設定と、送信するMIDIコントロールナンバーを設定する事が出来ます。

■ペダルスイッチ機能のオン／オフ　(デフォルト設定 = オフ)

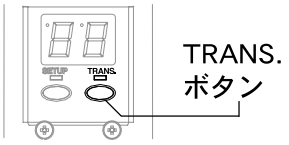
1) 「PS」が表示されているとき、[TRANS]ボタンを押すことでMIDIスイッチON/OFFメッセージ送信の有効無効を選択できます。



プログラム／データ表示部の「P」と「S」の間の小さな点が点灯します。この点が点灯していると、コントロールは有効となっています。

➔ 次のページへ

2) 解除するには、もう一度[TRANS]ボタンを押してください。



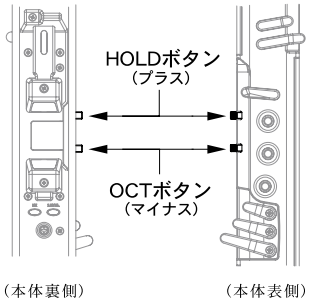
「P」と「S」の間の小さな点が消え、スイッチ機能が無効となります。

■ペダルスイッチのコントロールナンバーの設定 (デフォルト設定 = CC#65)

1) ペダルスイッチ機能を有効な状態にします。

前述のP.15「ペダルスイッチ機能のオン／オフ」を参考にし、ペダルスイッチ機能を有効にしておきます。

2) [TRANS]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン、[OCT]ボタンを使ってCCナンバーの数値を増減できます。



決定する場合は、目的の数値を表示させた状態で[TRANS]ボタンを離して下さい。

ヒント: [TRANS]ボタンを押したままにするとグライド・プレートから送信される「MIDI CCナンバー」が表示されます。

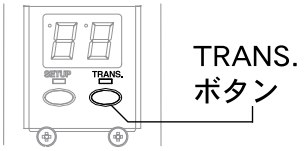
注意: *コントロールナンバーのセットをする際に、コンティニュアス・コントローラー機能を不意に「オフ」にしてしまいがちです。コントロールナンバーをセットした後はプログラム・データ表示部の「点」が点灯している事をご確認下さい。*

CC - (Continuous Controller) コンティニュアス・コントローラー

グライド・プレートセンサーからMIDIコンティニュアス・コントローラー情報を出力するときはこのオプションで設定します。デフォルトは「CC#05」です。

■コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ

1) 「CC」表示中のとき、[TRANS]ボタンを押すことでMIDIコンティニュアス・コントローラー・メッセージ送信の有効無効を選択できます。



プログラム／データ表示部の「C」と「C」の間の小さな点が点灯します。この点が点灯していると、コントロールは有効となっています。

2) 解除するには、もう一度[TRANS]ボタンを押してください。

「C」と「C」の間の小さな点が消え、コントローラー機能が無効となります。

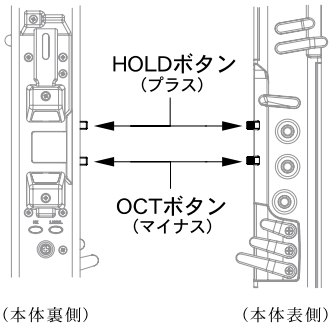
■コンティニュアス・コントロールナンバーの変更　(デフォルト設定 = CC#05)

1) コンティニュアス・コントローラー機能が有効な状態にします。

P.16の「コンティニュアス・コントローラー機能のオン／オフ」を参考にし、この機能をオンにしておいて下さい。

2) [TRANS]ボタンを押したまま、[HOLD]ボタン、[OCT]ボタンを使ってCCナンバーの数値を増減できます。

決定する場合は目的の数値を表示された状態で[TRANS]ボタンを離して下さい。



ヒント：[TRANS]ボタンを押したままにするとグライド・プレートから送信される「MIDI CCナンバー」が表示されます。

***注意：**MIDIコンティニュアス・コントローラーの値を「05」以外の値に変更した場合、本体内蔵音源に対するグライド・エフェクトの効果は無効となります。*

***注意：**コントロールナンバーのセットをする際に、コンティニュアス・コントローラー機能を不意に「オフ」にしてしまいがちです。コントロールナンバーをセットした後はプログラム・データ表示部の「点」が点灯している事をご確認下さい。*

キー・プログラム・チェンジ

EWI4000sはノート・キーにプログラムナンバーを割り当て、演奏中でも瞬時にプログラムを切り替える方法があります。これまでの方法では１オクターブのキー（12個）に限られていた為、それによりアサインできる音色数は12音色以内に限られていました。

OSバージョン2.0では、この従来の切り替え方法の他に、全ての音域のノート・キー（96個）に96音色をアサインする事も可能となりました。

キー・プログラムチェンジ・モードに入る

❶

1) [SETUP]ボタンを押したままにしてください。

[SETUP]ボタンを押したまま、[HOLD]／[OCT]ボタンを使ってプログラム／データ表示部に「dP」(Program Change)と表示されるまで操作します。

❷

2) 「dP」と表示されたら[SETUP]ボタンを離します。

[SETUP]ボタンを離すと、オクターブ機能に関するサブメニューの階層に移動します。

キー・プログラムチェンジのオプション

OF - (オフ)

キープログラムチェンジの機能を無効にします。

OC - (1オクターブ　12音色)　デフォルト設定

１オクターブ（12個のノートキー）の範囲内に、キー・プログラムチェンジの設定をします。これによるプログラムチェンジは演奏中のオクターブ制限を受けません。つまり、どのオクターブ内で演奏していたとしても、フィンガリングポジションに対応した12個の音色のいずれかを呼び出す事が出来ます。

AL - (全てのキー　96音色)

全音域（8オクターブ = 96キー）の各ノートキーに96音色を割り当てる事が可能です。上記の「OC」と違い、指定されたオクターブと伴う運指が必要になります。

※ 詳しくは製品付属の取扱説明書P.21「ノートにプログラムナンバーを割り当てる」をご参照ください。

フィンガリング・モード

EWI4000s OS バージョン2には、従来の運指に加え、新しく「AKAI EVI (Electric Valbe Instrment)」のフィンガリングモードが2種類用意されました。これにより木管楽器を基本とした従来の運指に加え、金管楽器をベースとした「AKAI EVI」のプレイヤーや多くの金管楽器の奏者の皆様にも簡単にEWI4000sを演奏する事が可能となります。

フィンガリング・モードの設定

❶

1) [SETUP]ボタンを押したままにしてください。

[HOLD]／[OCT]ボタンを使って、プログラム／データ表示部に「Fn」(Fingering)と表示されるまで操作します。

❷

2) 「Fn」と表示されたら[SETUP]ボタンを離します。

他のフィンガリング･モードへの移動は[HOLD]／[OCT]ボタンを使ってメニューを移動できます。

フィンガリングモード・オプション

Ei - EWIスタンダード

デフォルト設定

EWIスタンダードのフィンガリング･モードです。EWI4000sにおけるデフォルトの設定はこれになります。

Ev - EVIフィンガリング

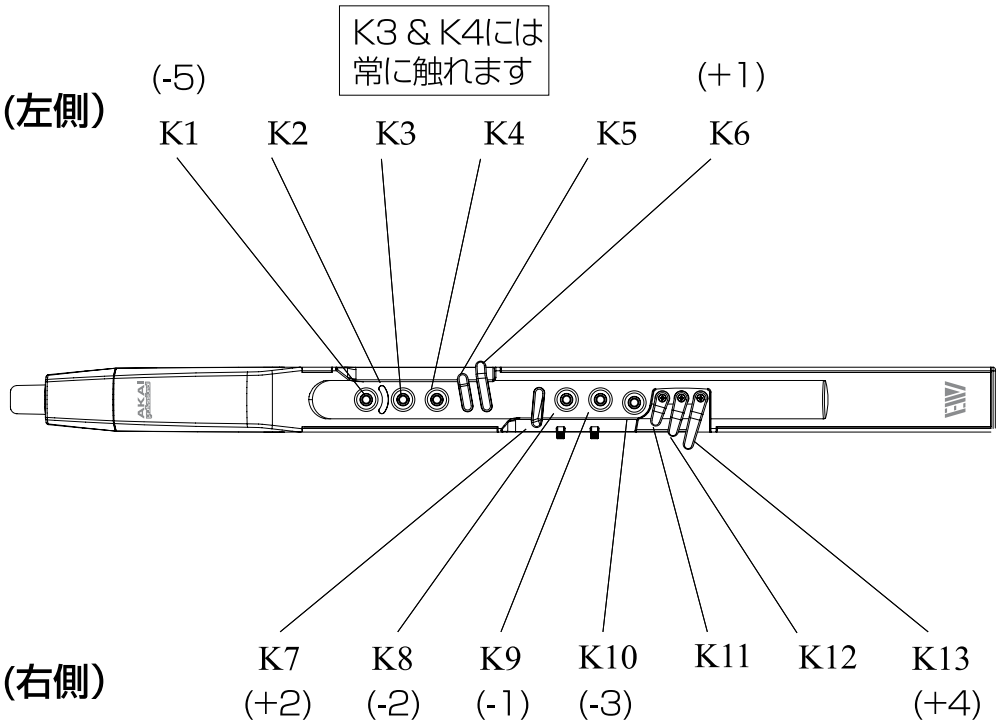
EVIフィンガリングにおけるもうひとつのモードです。運指は「EVI」ですがオクターブ･ローラーのふるまいはEWIと同じ方向に動作します。このモードは「金管」の運指を試してみたいとお考えのEWIユーザーにお勧めです。

Er - EVIフィンガリング + 反転オクターブ･ローラー

このフィンガリング･モードは実際のEVIにおける左手の動きと密接に重複しているモードです。EVIに慣れ親しんできたプレイヤーには、このモードをお勧めします。

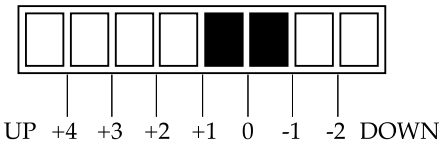
EWI4000s EVIモード運指表

■ノート・キー

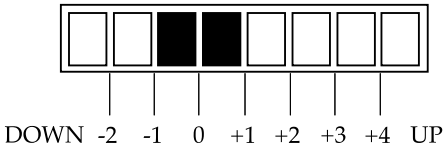


■オクターブ・シフト・ローラー

”Eu”モード



”Er”モード



“0”のポジションがリファレンス・スタンダードです。

EVIフィンガリング・モード詳細

■右手:

右手は３つの「バルブキー」と、「EVI 1stトリルキー」、「EVI 3rdトリルキー」をコントロールします。更に右手の指はベンドセンサーのアップダウンもコントロールします。

EWI上の「ノートキー8、9、10」は金管楽器における「3つのバルブ」に該当します。図の中のカッコ内の数字は触れた時の音程の上下についてです。

ノートキー7(K7)はEVIにおける1番目のトリルキーとしての役割をします。触れている時に全音(+ 2 note)上げます。

ノートキー8(K8)は全音(-2 note)下がります。

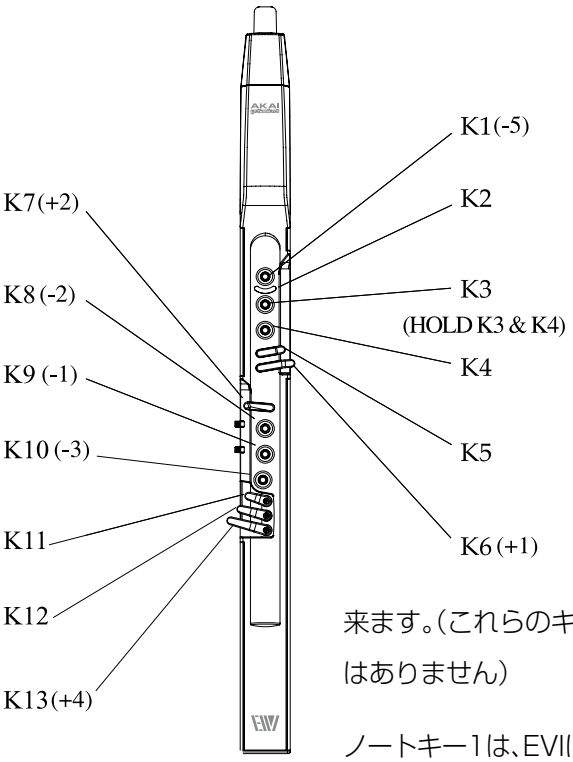
ノートキー9(K9)は半音(-1 note)下がります。

ノートキー10(K10)は全音半(-3 note)下がります。

ノートキー11&12は機能しませんので右手小指の置き場所として使用します。

ノートキー13はEVIにおける3番目のトリルキーとして機能します。触っている時に長3度(+4 note)上げます。(EVI 2ndトリルキーは左手側)。

(右側)　　(左側)



■左手:

左手は「オクターブ」と「半オクターブ」へのシフト、そして「EVI 2ndトリルキー」をコントロールします。また、左手の親指はグライド･センサーもコントロールします。

ノートキー3と4は演奏時に常に触れます。

ノートキー5には何の機能も割り当てられていませんが、このキーは他のキーへ不意な接触を防ぐ為の「バリアー」としての枠割りを果たすでしょう。

ノートキー6は「EVI 2ndトリルキー」としての役割を果たします。キーに触れた時、ピッチを半音(+1note)上げます。

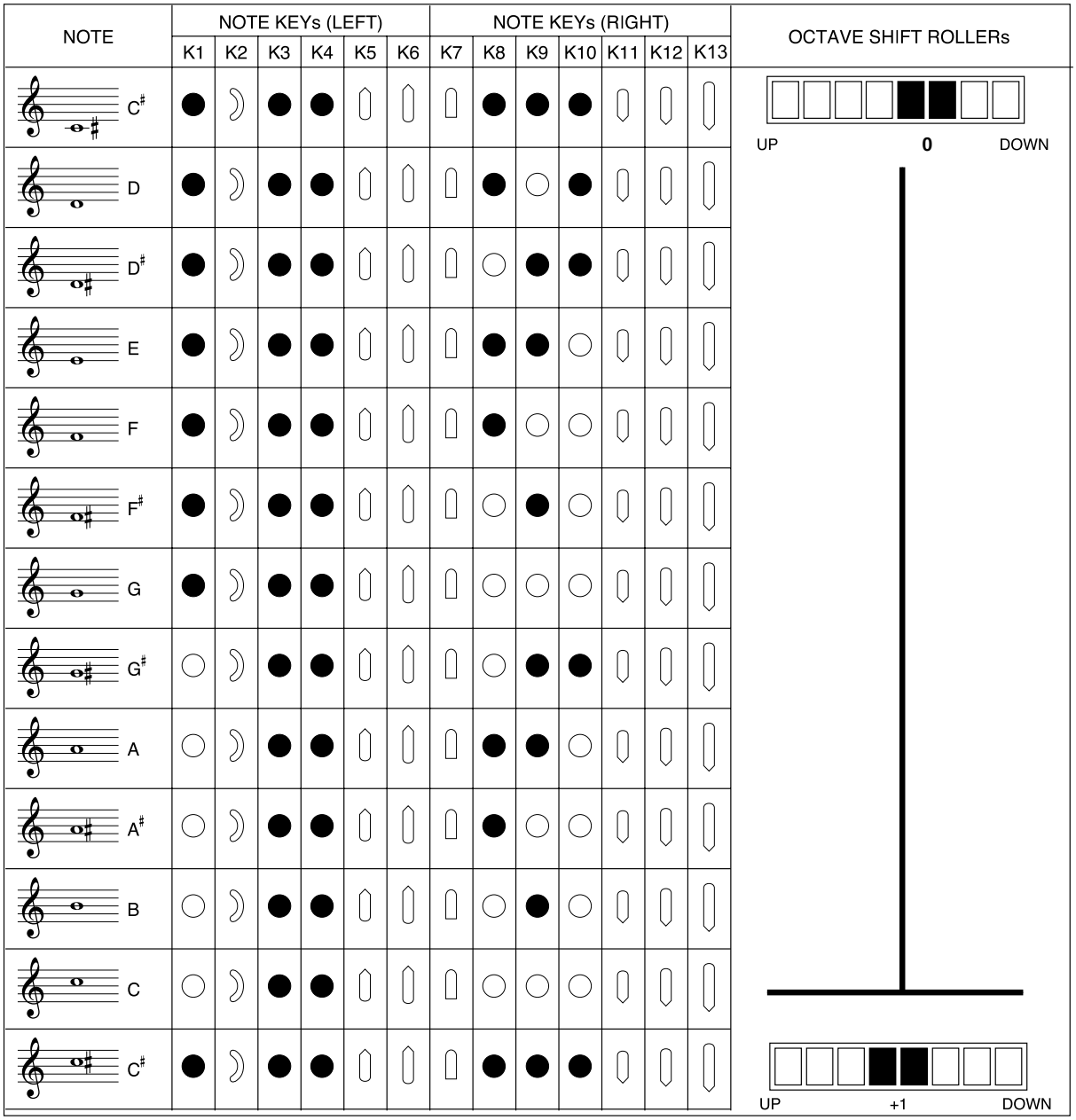
ノートキー3または4のいずれかを離すか、ノートキー6に触れる、もしくはこれらのキーの併用によって+1/2までピッチを上げる事が出来ます。(これらのキーのシフト量は加算式ではありません)

ノートキー1は、EVIにおける「キャニスター」のボタンに指を置く為の場所だと考えて下さい。触れるとピッチは完全4度(-5 note)下がります。一般的な金管楽器の4番目のバルブ、もしくはトロンボーンにおける左手親指のアタッチメントとしてこれを考えてください。

ノートキー2には何の機能も割り当てられていません。このキーは他のキーへ不意な接触を防ぐ為の「バリアー」としての枠割りを果たすでしょう。

→ 次のページへ

※黒く塗りつぶしてあるKEYをタッチして下さい。



■EVIの基本的な運指

EVIフィンガリングモードにおける基本的な方法をご紹介しましょう。
まず2つのローラーの間に左手の親指を触れておきます。次にノートキー3と4に指を触れてください。これで基本となる「C」が発音されます。このノートキー3と4は演奏時に常に触れ続けるキーです。バルブ・キーはどれも押さえていない状態で「C」が発音され、これはいわゆる「オープン・フィンガリング（どのバルブも押していない）」として考える事が出来るでしょう。

そのまま左手人差し指でノート・キー1に触れてみて下さい。すると下のオクターブの「G」が発音されます。

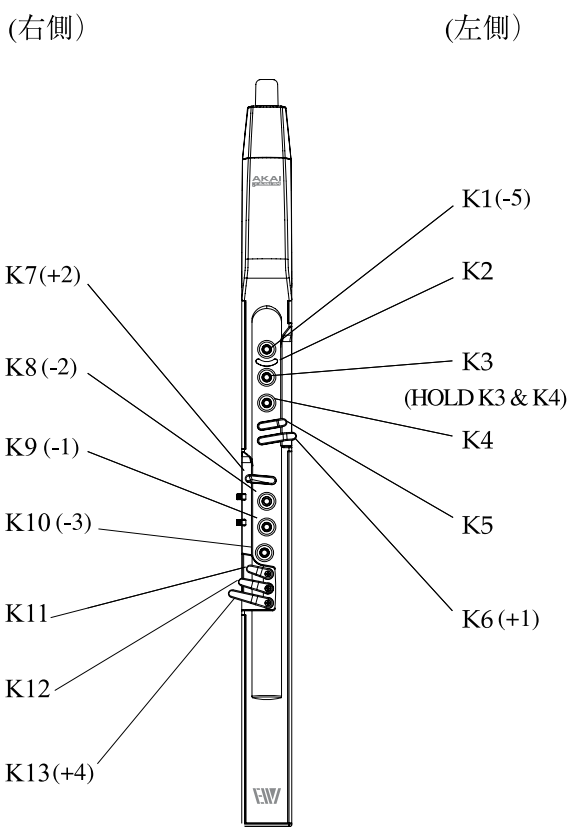
次は3つのバルブ・キー（ノート・キー8、9、10）を右手で操作し、CもしくはGへ下がっていきます。
Cから下がっていくフィンガリングではAb(G#)が発音されるでしょう。Ab(G#)からGへの移動は、難しいものではありません。左手の人指し指でノートキー1に触れると同時に、右手の指すべてを離すだけです。

➔ 次のページへ

次にC#へ向けてどんどん下がっていきましょう。
C#からCに移動するときは、左手人差し指で押さえている「ノートキー1」と右手のバルブ･キーすべてを離すと同時に、左手親指のオクターブ･シフト･ローラーを次のオクターブに移します。

このようにしてどんどんスケールを演奏してみて下さい。

このフィンガリングはどのオクターブにおいても全く同じ形です。
右手のフィンガリングなどはトランペットにおけるミドル「C」からオクターブ下「C」周辺と同じだということがお分かり頂けるはずです。例えば「C#」は常にノート･キー8、9、10で演奏する、「D」は常にノート･キー8、10で演奏する. . .といったようにです。
EVIフィンガリングモードのこの1オクターブの運指を覚えるだけで、EWI4000sのほとんどの発音域をマスターすることが出来ます。



■トリルキーとは？

EVIフィンガリングモードの運指において、「トリル」が困難なポイントを、3つある「トリル･キー」を使うことによって簡単に行うことが出来ます。

P.21の運指表を見てもおわかりいただけるように、右手による7通りのフィンガリングのみでは、12個の半音階からなるオクターブの範囲をカバーする中で、オクターブ途中の運指を切り替える際には、運指上のある種の「交差」が発生してしまいます。具体的に「C」と「C#」の間、「G」と「G#」の間で、右手と左手の両方を同時に変える必要性があり、この音程間でトリルを行うには、かなりトリッキーなテクニックを要求されます。特に「C」と「C#」の間は、同時に左右の複数の指を変える必要があり大変困難です。しかし「トリル･キー」を使うことによってこれを簡単にすることが可能です。

例えば、上記の「C」と「C#」のトリルをするなら、まずCの運指をして「2ndトリルキー(K6 = ノートキー6)に触れて下さい。これだけで通常の運指では大変困難だったトリルがいとも簡単に可能になります。充分にこのトリル･キーを活用して下さい。

このEVIフィンがリングモードにある3つの「トリル･キー」や「バルブ･キー」との組み合わせにより、オリジナルな「「替え指」を編み出したり、演奏時の困難なフレーズやパッセージをより簡単にすることができるしょう。

**EVIフィンガリング･モードの開発に関して、Patchman Music(www.patchmanmusic.com)のMatt Traumに心より感謝いたします。*

EWI4000s OSのアップデート方法

このガイドではEWI4000sのOS(オペレーティングシステム)をアップデートする方法を明記します。

■OSのバージョンアップに必要なもの

・MIDIケーブル x 1本(市販品)

MIDIインターフェースとEWI4000s本体を接続するために使います。

・MIDIインターフェース(市販品)

パソコン側からMIDIを送信するために必要です。

・OSのファイル

EWI4000s用のOSファイルを用意して下さい。

ファイルはhttp://www.akaipro.com/からダウンロードできます。

・SMFプレイヤー(市販のシーケンサーソフトなど)

EWI4000sのOSアップデートファイルは、システムエクスクルーシブを含んだ、一般的な「スタンダードMIDIファイル(SMF)」です。このファイルをEWI4000s本体に転送する為に、SMFプレイヤー、もしくはシーケンサーソフト等が必要です。

・Macintosh: Mac OS X

Mac OSXにおいては市販のシーケンサー、または、フリーウェアの"SysEx Librarian"がおすすめです。「SysEx Librarian」は以下のサイトからダウンロード可能です。

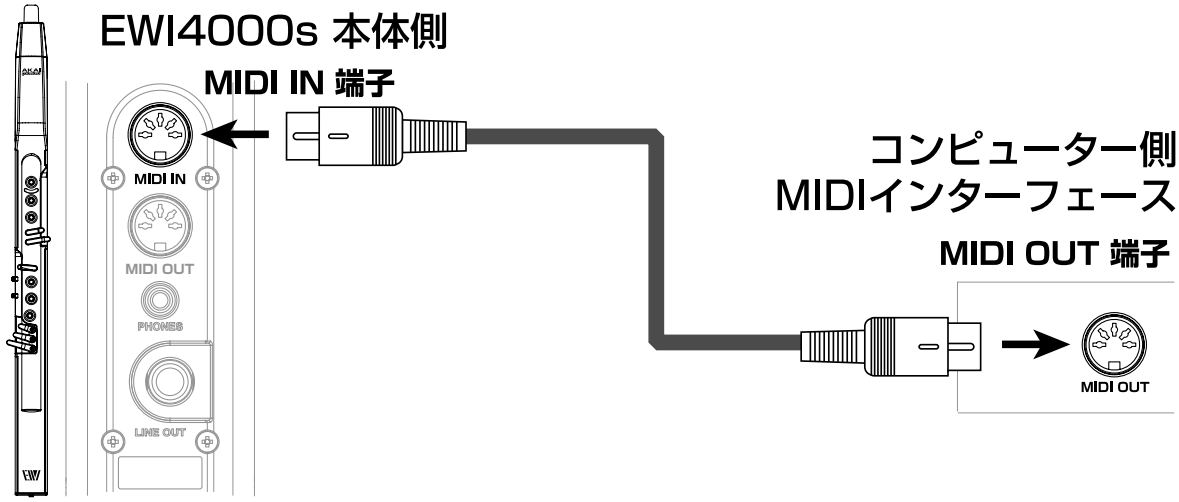
http://www.snoize.com/SysExLibrarian/

・Windows XP

Windows環境においては「Windows Media Player 10」を使って送信する事が可能です。または、市販のシーケンサーをお使いください。

■接続のしかた

コンピューター側MIDIインターフェースの「MIDI OUT 端子」と、EWI4000sの「MIDI IN 端子」をMIDIケーブルで接続してください。



■MIDIインターフェース側の準備

ご使用のパソコンに接続されたMIDIインターフェースから、MIDI信号が確実に送信出来ているかをご確認下さい。MIDIインターフェースの設定等に関しては、お使いのMIDIインターフェースの取り扱い説明書をご覧下さい。

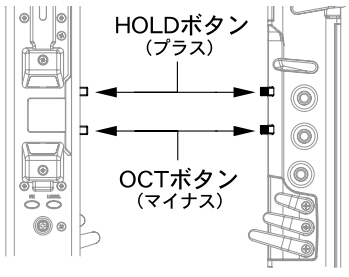
■EWI4000s側の準備

1.) [SETUP]ボタンを押したままにします。

2.) [SETUP]ボタンを押したまま、[HOLD] / [OCT]ボタンを押して「UP」を選択してください。

3.)「UP」を選択したら、[SETUP]ボタンを離してください。

[SETUP]ボタンを離すと、プログラム／データ表示部に２桁の数字(「10」や「11」など)が表示されます。この数字が、現在お使いのEWI4000sに搭載されているOSのバージョンとなります。



■EWI4000sへOSファイルを送信する

1.) お使いのシーケンサーやSMFプレイヤーでOSファイル(「ファイル名.mid」)を開き、再生させます。

ファイルが再生され、EWI4000sがデータを受信すると、自動的にアップデートを開始し、プログラム／データ表示部がアニメーションを開始します。

注意:データ再生中は、シーケンサーの再生を途中で止めないで下さい!

2.) 送信が無事終了するとEWI4000sのプログラム／データ表示部にアップデート後のOSバージョンの数字が2桁で表示されます。

例えば、OSのバージョンが2.0であれば「20」という具合に表示されます。

3.) EWI4000sの電源を一度切り、数秒間置いた後に再度電源を投入して下さい。

アップデートしたバージョンでEWI4000sをお使いいただけます。

※ 正常にアップデートが行われなかった場合、プログラム／データ表示部には「E」、「Er」もしくは「E1」といった表示がされます。その際は、EWI4000sとインターフェースとの接続、インターフェースの設定等をご確認の上、P.2「EWI4000s側の準備」から再度お試し下さい。

プロ・オーディオ・ジャパン株式会社
〒224-0021 神奈川県横浜市西区花咲町7-150
ウェインズ＆イッセイ 横浜ビル5階
電話：045-326-2046　FAX：045-316-8665

Copyright(c) 2006 Pro Audio Japan K.K. All rights reserved.

WWW.AKAI-PRO.JP